

大和斎場予約システム利用規約

1 趣旨

この規約は、広域大和斎場組合(以下、「組合」という)が提供する大和斎場予約システム(以下、「システム」という。)の利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

2 用語の定義

以下の用語をシステムにおいて、次のとおり規定する。

- (1) 利用者:システムを利用する葬儀取扱事業者
- (2) 利用責任者:システムを利用する葬儀取扱事業者の責任者
- (3) ID:利用者を識別する符号
- (4) パスワード:利用者のセキュリティ確保に必要な暗証符号
- (5) システム管理者:システムの健全な運用を行うため、組合が設置する運用責任者
- (6) 通知メール:施設予約を行った利用者に対してシステムから送付する電子メール

3 利用上の注意

組合は、システムの利用登録を申請した者に対し、利用権限を付与する。利用者は組合からの権限付与にあたり、本規約を確認の上、規約の順守を誓約するものとする。また利用者権限で登録することのできる配下の担当者についても、システムに登録した時点でこの規約に同意したものとみなす。但し、この規約に同意できない者及び葬祭業を営む者ではない個人には、システムの利用は認めないものとする。

4 利用責任者の責務

システムの健全な運用を行うため、利用者は組合からのシステム利用権限の付与を受けるにあたり、利用責任者を代表者として登録し、登録された利用責任者はその責務として、組合の指示に従い、事業所内の全利用者に対し、システム利用に関する適切な指示や指導を速やかに行うものとする。

5 利用者の責任

利用責任者及び利用者は、次の各項によりシステムを利用するものとする。

- (1)規約に基づき、自己の責任と自覚により利用しなければならない。
- (2)利用者は、IDを他人に転貸し、またはその権利を譲渡してはならない
- (3)利用者が取得するID及びパスワードは責任をもって管理し、他人に漏らしてはならない。
- (4)利用者は、知り得た情報等を厳重に管理するものとし、組合に対していかなる責任も負担させないものとする。

6 利用者の登録・更新・抹消

利用者が、システムを利用して予約を行う場合は、利用者本人が利用方法に従い大和斎場予約システム利用登録申請書により行うものとする。

- (1) 利用者は、利用登録時の情報について変更があった場合は、利用者たる事業者本人が大和斎場予約システム利用登録変更届により変更を行うものとする

- (2) 利用者が登録の廃止を行う場合は、利用者たる事業者本人が大和斎場予約システム利用登録廃止届を提出するものとする。
- (3) 組合は、次の場合に利用者に対して事前の告知なく利用者登録の抹消を行うことができるものとする。
- ①利用者が本規約に定める事項に違反したとき
 - ②必要以上に予約の登録や取消を行ったとき
 - ③故意に正常な予約システムの運用を妨害したとき
 - ④システムの利用が、長期間ないと認められたとき
 - ⑤故意に死亡者の氏名を変更したとき
 - ⑥火葬炉、式場、安置室等の予約を行った後、使用する必要がなくなったにもかかわらず予約の取り消しを行わなかったとき
 - ⑦その他、管理上支障があると認められたとき

7 予約システムの停止と制限

組合は、利用者がこの規約に反する行為をしたと認められる場合は、予告なしにシステムの利用を停止し、または制限することができるものとする。

8 予約システムの変更

組合は、システムの正常な機能を維持するために仕様を変更し、または一時的に運用を停止することができるものとする。その場合、事前にメールまたは文書にて利用者に通知する。

また、軽微な仕様の変更や短時間の運用の停止となる場合については、この限りではない。

9 障害時等の措置

システムが障害その他の理由により利用ができなくなった場合には、利用者は従来の電話等によって予約等を行うものとする。

10 利用時間

システムの利用可能時間は、原則24時間365日とする。但し、次に掲げる場合は、利用者への事前の通知を行うことなく、システムの運用の停止・休止・中断または制限を行うことができるものとする。

- (1) システムの保守点検等を行う必要がある場合
- (2) システムの利用が著しく集中した場合
- (3) システムに重大な障害その他やむを得ない理由が生じた場合
- (4) 天災や事変その他非常事態が発生した場合

11 禁止事項

システムの利用にあたり次の行為を禁止する。

- (1) システムを予約以外の目的で利用すること
- (2) 他の利用者の ID やパスワードを不正に利用すること
- (3) システムに対して、不正な手段でアクセスすること
- (4) システムに対して、ウィルスに感染したファイルを送信すること
- (5) システムの管理及び運営を故意に妨害し、または破壊すること

- (6) 被火葬者が存在しないにもかかわらず、架空の情報でシステムから予約を行うこと
- (7) 法令等または公序良俗に反すると認められる行為をすること
- (8) その他、本システムの円滑な運用を阻害するような行為をすること

12 コンテンツの保護

システムに含まれているコンテンツの複製・編集・改ざん・模倣・販売等の行為を禁止する。

13 免責事項

組合は利用者がシステムを利用したことにより発生した損害について、一切の責任を負わないものとする。また、システム動作の遅延やシステムの運用の停止・休止・中断または制限を行ったことにより発生した損害についても同様とする。

なお、システムが利用できない場合は、システム以外の手段(電話等)により予約等を行うものとする。

14 個人情報の保護

組合は、システム利用者から取得した個人情報について、個人情報の保護に関する法律を順守し、情報の保護ならびに適正な管理を行うものとする。また収集した個人情報は、法令の要請に基づくものを除き、目的外の利用及び第三者への提供は行わない。

15 合意管轄裁判所

この規約は、日本国法に準拠するものとする。また、システムの利用又はこの規約に関して組合と利用者との間に生ずるすべての紛争については、横浜地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

16 利用規約の変更

組合は、必要に応じて利用者への事前の通知を行うことなく、この規約を変更することができるものとし、規約の変更後に利用者がシステムを利用した場合は、変更後の利用規約に同意したものとみなす。

17 システムにおける損害賠償

利用者が故意、または正規な使用方法に従わず、システム及びデータを消去、破損させた場合は、その損害について賠償を求めることができるものとする。

附 則

本利用規約は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。